

実務経験のある教員等による授業科目一覧

総合心理学部

科目CD	科目名	担当教員	配当年次	単位数	実践的教育の授業内容
RD1010	発達心理学	仲真紀子	1	2	授業は原則として、講義形式で行い、適宜質疑を交える。(※)上の記述とも重なるが、第1回で全体的な発達像を示し、第2～5回では、この発達を内的、外的に促し支える心理学的機序について見る。特に、遺伝と環境の問題、外的動機付け、内的動機付け、文化をとりあげる。また、第6～11回では、言語、記憶、自己、対人関係の発達を見ていく。そして第12～15回では、社会的な課題における発達の問題について考える。これらの授業のうち、特に第8回の記憶の発達(2)や、第14回、第15回の司法面接の授業では、演習も行う(特段、準備は必要ない)。また、第9回は記憶の障害に関する動画を提示する。子どもが対象となった事件や裁判の発達心理学的分析や鑑定、裁判での専門家証人などの実務経験も生かし、現実場面にも適用できる知識とスキルを提供する。
RD2020	臨床心理学概論	伊藤義徳	1	2	この科目は、各回で教材を準備し、その教材を使用しながら講義を進める。授業ごとにpptを用意し、pptと文字教材を併用しながら講義を進める他、視覚教材として適宜Youtubeを紹介したり、コミュニケーションツールとしてSlidoを用いる。担当教員はスクールカウンセラー、特別支援教育アドバイザー、少年院における指導、復職支援プログラムの運営、医療現場での心理士等公認心理師主要5領域を含む多様な領域での臨床経験を持つ。1回～15回の全てにおいて、そうした経験を部分的に参照しながら講義を行う。特に第2回～第5回は、そうした各臨床現場での具体的症例を紹介し、それに基づき心理臨床現場を具体的にイメージしてもらう問いかけを行う。
RE3050	消費者の心理学(買う側の心理学)	番田清美	2	2	この科目では、消費行動における人の意思決定について、心理学的に理解を深めることを目的とする。私たち消費者は、何らかの買い物行動を日常的に行っている。消費者が商品やサービスをどのように選択しているのか体系的に理解できるように、特に消費者の購買動機、消費者の問題意識と情報探索、イメージ・印象が購買行動に及ぼす影響、消費者の態度形成について考察する。消費者の購買意思決定に関する分析としては、行動観察およびインタビュー調査といった定性的(質的)データの分析手法を学ぶ。「意思決定の科学」で解説される定量的な測定手法を学ぶことにより、消費者の購買意思決定の分析手法を深めることができる。担当教員は、石川県の行政(市)やお菓子メーカー様らとコラボレーションを行い、国内外においてマーケティング調査を行った。調査データに基づいた実装案を各コラボレーターに提案し、知見をまとめている。それらの現場経験と研究知見に基づき授業を行う。
RG1010	人体の構造と機能及び疾病	武田知也	1	2	この科目では、この講義専用の文字教材を担当教員が準備する。その文字教材を使用しながら講義を進める。講義内で用いるその他の参考書や論文等を講義、予習、復習に使用する場合には、その都度、講義内でその旨をアナウンスする。主に授業ごとの文字教材を、教員が前方の画面に映し出し、それを読み上げることで講義を進めるが、イラストや写真が必要な場合は、補助教材としてpptやkeynoteを用いる。担当教員は公認心理師、臨床心理士の資格を有し、総合病院の精神科や小児科での勤務経験を持つ。その経験に基づいて第6回から15回までの身体疾患への心理支援の実例について話す。
RG2020	精神疾患とその治療	武田知也	1	2	この科目は、各回で担当教員が文字教材を準備し、その文字教材を使用しながら講義を進める。講義内で用いるその他の参考書や論文等を予習や復習に使用する場合には、その都度、講義内でその旨をアナウンスする。授業ごとの文字教材を前方に投影し、教員が読み上げることで講義を進めるが、イラストや写真が必要な場合は、補助教材としてpptやkeynoteを用いる。また、随時、学生に講義内容の理解を深めるような質問をGoogle form等を用いて投げかける。学生は、講義を受動的ではなく、能動的に受講する姿勢が求められる。担当教員は総合病院精神科や小児科での勤務経験を有し、その経験に基づいて第1～15回について話す。

実務経験のある教員等による授業科目一覧

総合心理学部

科目CD	科目名	担当教員	配当年次	単位数	実践的教育の授業内容
RG3030	障害者・障害児心理学	吉本美穂	2	2	この科目は公認心理師関連科目であり、基盤専門科目「発達心理学」および「臨床心理学概論」、公認心理師関連科目「人体の構造と機能及び疾病」を受け、身体障害、神経発達症群および精神障害について、それぞれの障害特性に関する基本的知識の理解を深める。発達障害児が増加し、発達早期からの支援の有効性が報告されており、早期診断および発達早期からの支援の必要性が高まっている。障害特性によっては社会適応が難しく、社会的自立の困難さもある。そこで、障害者・障害児における心理社会的課題についての理解を深め、それぞれの障害特性に応じた支援についても検討する。この科目を受講することにより、「福祉心理学」、「心理的アセスメント」、「心理演習」の理解を促進し、「心理実習」がより実りある体験となることを期待する。担当教員は、児童福祉施設や医療機関、教育機関において心理専門職としての勤務経験があり、その経験に基づいて第1～15回について説明を行う。
RG3040	心理学的支援法	伊藤義徳	2	2	この科目は「公認心理師関連科目であり、基盤専門科目「発達心理学」および「臨床心理学概論」、公認心理師関連科目「人体の構造と機能及び疾病」を受け、身体障害、神経発達症群および精神障害について、それぞれの障害特性に関する基本的知識の理解を深める。発達障害児が増加し、発達早期からの支援の有効性が報告されており、早期診断および発達早期からの支援の必要性が高まっている。障害特性によっては社会適応が難しく、社会的自立の困難さもある。この科目を受講することにより、「福祉心理学」、「心理的アセスメント」、「心理演習」の理解を促進し、「心理実習」がより実りあることを期待する。担当教員は、児童福祉施設や医療機関、教育機関において心理専門職としての勤務経験があり、その経験に基づいて第1回～15回について説明を行う。
合計				14	